

Umehara Elementary School
梅原小学校 学校だより
令和7年12月22日号

「よいこと見つけ」を、学校・家庭・地域で

本校では、子どもたちの成長を支える取組として、「よいこと見つけ」を大切にしています。

校長 埴岡 靖司

「よいこと見つけ」とは、日常の中にある小さな前向きな行動に目を向けることです。

- あいさつを進んでいる
- 困っている人に声をかけている
- ゴミを拾っている
- 自分の役割を最後までやりきっている



こうした当たり前のように思える一つ一つの行動が、子どもたちの自信や思いやりにつながっていきます。学校では、職員が子どもたちの「よいこと」を見つけ、言葉にして伝えることを大切にしてきましたし、これからも大切にしていきます。

今の学年での学校生活が、三分の二を過ぎようとしています。子どもは学校生活に慣れ、できることも増えてきました。その一方で、友達同士や地域の方とのかかわりの中でもめたり、言葉がきつくなったりする姿が見られます。このような時期だからこそ、本校では「よいこと見つけ」を大切にしていきたいと考えています。

「よいこと見つけ」は、その一瞬にできた姿を見つけ、認めることです。その時に「できた事実」が大切だと考えています。だから、特別な成果ではなく、日常の中にある前向きな行動に目を向け、言葉にして伝える取組です。「よいこと」に目を向けることで、自分の行動を振り返る力が育ち、友達や地域の方の思いやりに気づくきっかけが生まれます。また、注意や叱責だけでなく、できている行動を認めることが、関係を立て直す力につながります。

♪♪ よいことは、見つけた人の力 伝えた言葉は、子どもの力 ♪♪

ご家庭や地域の皆様におかれましても、子どもたちの姿の中にある『小さな「よいこと」』に目を向け、温かい声かけをしていただければ幸いです。地域で子どもたちの姿を見かけた際、「今の、いいね」「助かったよ、ありがとう」そんなひと言の声かけが、子どもたちの大きな力になります。学校・家庭・地域が同じ視点で子どもたちを見守ることで、互いを思いやり、安心して過ごせる環境をつくっていきたくと考えています。

「よいこと見つけ」と「よいとこ見つけ」

「よいこと見つけ」は、子どもたちの行動や出来事に目を向けることです。

「友だちを助けていた」「最後までがんばっていた」など、日々の学校生活の中で見られる前向きな行動を、具体的に認めます。

「よいとこ見つけ」は、その行動の背景にあるその子らしさや強みに目を向けることです。

「やさしさ」「粘り強さ」「周りに気づける力」など、一人一人のよさを言葉にして伝えます。

♪ ♪

今年も残すところわずかとなりました。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

来年も、子ども一人一人が安心して学び、様々なことが体験できる学校づくりを進めてまいります。どうぞよいお年をお迎えください。来年も変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。